

---

# 世界であ・そ・ぼ

あゆみかん

---

## 注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

### 【小説名】

世界であ・そ・ぼ

### 【コード】

N0999D

### 【作者名】

あゆみかん

### 【あらすじ】

【童話っぽい？/短編（読了約5分）】

たいくつな神様たちが集まって一緒に遊んでみると……「こうなります。」

「おにごっこをしようか」と、神様Aが言い出しました。

「いや、私は かくれんぼが したい」と、今度は神様Bが。

「うーん、僕は だるまさんが転んだが いい」と、横から神様C。

3人の神様は退屈で、何か遊びがしたいのです。

神様AとBとCが あーだこーだと言っているうちに、神様Dが通りがかりました。

「おう！ 神様D！！ いきなりだが、オニになってくれ！」

いきなり指名された神様Dはキョトンとして、自分を指さしながら「え？ オレ？」と何故か照れています。

「無理だよオレ。そんなカンフーの才能なんて無いし。いきなりオ・ニーに なれだなんて……」

オー・ニーって誰でしょう。

それは さておき、神様Aは神様Dを その大いなる神パワーで脅迫しました。なあに、ちよつと力の差を見せつけただけです。ああ こんな所で力の格差社会が。

「諦めな。下つ端の お前には逆らう権利など無い。おとなしく俺らの言う事を全部聞くんだな」

と、神様A。Aがリーダー格かもしれない。

「は？ ……全部？」

神様A 「おにごっこ」

神様B 「かくれんぼ」

神様C 「だるまさん（が転んだ）」

神様A・B・C 「オニ、よろしく」

ああ本当だ！ 全部オニが居るんですね！

……つて、納得してますか？ 神様D……。

「仕方ない……下っ端の宿命……よーい、ドンッ！ー！」

と、神様Dも なかなかの無茶ぶりで、1から数を数え始めました。

「いち、にーい、さん、……」

神様A・B・Cは神様Dから離れて行きます。

目を閉じながら数を数えている神様Dですが、内心どうしようかと脳内を巡らせています。

まあいつか。何とかなる。

気楽に考えます。

……

カウント100まで数えた後、「もーいーかーい？」と神様Dが振り返りました。

誰も居ません。ひゅるりりり。

「もーいーだろーという事にしておごう。さてと……それぞれ、どうやって捕まえようか……。何しろ、世界は広いからなー」

逃げるA。隠れるB。止まるC。……まとめると、こづいづ事です。

「とりあえず姿を見つける事が先決だ。まず……」

水を無くせ。木を刈れ。

一滴も残すな。一本も残すな。

星を丸裸（地表）にしてしまえば、隠れる事なんてできない。そうだ、そうしよう。

神様Dは その大いなる神パワーで、早速 実行に移しました。

そして、この星は根も草も無い もはや土の塊に。

「あつ、神様Bっ、見つけたぞ！」

神様Dは、見晴らしのよくなった地表で、神様Bの姿を捉えました。

「ちえっ、見つかったか！」

神様Bは、くやしそうに神様Dの元へ戻ってきます。

「後は神様Aとこだね。ウン、何処に居るんだろうっ」

神様Dは考え込みました。逃げる神様Aと……。

「そうだ。星を一周するように壁をつくって繋げて、逃げ道を塞ごう！」

神様Dの思いつきで、星をグルリと一周するように電流の壁をつくりました。触ると高圧電流が伝わるように。もし触ってしまったら、生きている保障はありません。

こんな事が出来るのも、大いなる神パワーのおかげです。

「さてと。ちよっと走って神様Aを、追い詰めよう」

と、神様Dは適当に決めた方角に直進してみました。

すると、ラッキーです。割とすぐに神様Aの姿を発見しました。

「見つけたぞ！」

「うわっ、見つかった！ 逃げろ！」

神様Aは走り、逃げます。しかし……目の前には、神様Dのつくった電流の壁が。これのせいで退路がありません。

「くっ……！ これは、触れない」

目の前に立ちはだかる壁を睨みながら、神様Aは舌打ちします。  
「捕まえた！」

そのうちに、神様AはDにタッチされてしまいました。「くっそ  
〜!!」

くやしがる神様A。「仕方ないよ！」と慰める神様B。

「後は神様Cだな」

神様Dは目を閉じて言います。「だーるーまーさーんがー……  
転んだっ」

ぱつと、目を開けると、遠く遙か向こうの地平線に神様Cの姿が。  
「だーるーまーさーんがー……」

再び神様Dが目を塞ぐと、神様Cがこちらに向かって突進して  
来ます。猛スピードで。

「転んだっ」  
ピタリ。

寸分動かず、神様Cは停止。このままだと簡単にタッチされて  
しまいますが……。

(ふっふっふっ。すでに罨は仕掛けてある。来るがいいさ、神様C  
!!)

不適な笑みを浮かべて、また「だーるーまーさーんがー……」  
と。

「オラオラオラあッ!!」

神様Cが……。

「オラッ!？」

ズドンッ!!

「オラあ〜〜〜!!」 「転んだっ！」

ヒュルルルルル……

……

なんと、神様Dのそばに、深い深い落とし穴が仕掛けてあったのです。

それを知らない神様Cは、見事ハマって まっさかさま。たぶん無事です。神様なんで……。

「動いたぞ！ 神様C！！」

いや、落ちましたけどね。

「これで全員、捕まえた！」

神様C、放つたらかし？

すると頭上に、鮮やかなエンジ色をした光が現れました。

「コラアッ！！ 何さらしとんねん、神ども！！ さっさと遊んだら、片付けんかいっ！！！」

「はあ〜い……」

突然 現れた怒声。神様AとBとDは、素直に返事をしました。

ひよっとして、神様X？

何とか自力で穴から這い上がってきた神様Cと一緒に、神様たちは後片付けを始まりました。

その大いなる神パワーで、大地を元の緑に。水を湧かし。空には雲が。地上には動物が。光が。風が。

「ふう。……これで元通りだね。……オヤ？」

何かを、忘れていたような気がしました。「何だっけ？ 何か足りてないような。ま、いつか」

神様たち一行は、遊び疲れてクタクタになって帰って行きました。

世界であ・そ・ぼ

何か この星に足りないもの？  
それは、始めは4本足、次に2本足になって、3本足になるもの  
です。

《END》

(後書き)

【あとがき】

人間。

そういえば、何で「人の間」と書いてニンゲンなのだろう???

……という余計な疑問が……。

ご意見・ご感想など お待ちしています。

ありがとうございました。

# 広告募集中

小説関連広告に最適です。  
出版社や印刷会社はもちろん、  
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0999d/>

---

世界であ・そ・ぼ

2009年3月24日09時09分発行